

浦

URAWA

和



浦和区の花 ニチニチソウ

11 2014  
月号浦和区役所  
浦和区常盤6丁目4番4号☎ 825・1111 (代表)  
☎ 829・6233

文教のまち うらわを歩こう

文化の小径

## 前地・岸町界隈を歩く

このコーナーでは、「浦和区文化の小径マップ」に掲載されている浦和区のみどころを、シリーズで紹介しています。



圓蔵寺と山門前の大イチョウ (浦和区東岸町)



浦和区文化の小径マップは、浦和区コミュニティ課などで配布しています。



青面金剛の庚申塔 (浦和区前地3丁目)

## 前地通りから圓蔵寺まで

浦和駅東口から日の出通りを渡り、1つめの角を左に折れると前地通りである。前地通りは昔ながらの商店街の風情があり、落ち着いた雰囲気が味わえる。浦和競馬場方面にしばらく進むと、東高砂町と前地との境に、小さなお堂に囲われた元文3年(1738年)銘の庚申こうしんとう塔と出会うことができる。庚申信仰の本尊である青面金剛しょうめんこんどうが彫られた石塔を左に眺めてそのまま直進し、精肉店のある十字路を右に折れると、まもなくひらぎ柵稲荷社が右手に見えてくる。境内を取り巻く玉垣に刻まれた寄進者の名から、古いにしえに思いを馳せてみたい。稲荷社の手前の道を西方向にしばらく進み、鉄道高架沿いに左に折れると圓蔵寺である。白壁が美しい山門の前には大イチョウの古木たなずが佇み、鮮やかな黄色に染まりゆく風景は、深まる秋と冬の訪れを告げている。